

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理特論Ⅷ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	飯塚 稔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年間の集大成として、特に心理や精神保健福祉に関する領域の調査研究を行い、研究論文としてまとめる。論文作成過程を通じて、調査・分析能力をはじめコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力、リーダーシップやフォロワーシップ、主体性、行動力を育成することを目的としている。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70%、出席20%、平常点10%とします。その他、発表中の態度なども加味します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
随時、必要な資料や参考書を呈示する。						
《授業外における学習方法》						
グループのメンバーと時間を調整し、授業時間外でも調査や討論、作業を進めていくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
1年間かけて取り組むものです。1つのテーマで、じっくりと考える習慣や、実証的な説明が身につくよう願っています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	調査データの入力、統計処理、図表化ができるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。	
		各コマにおける授業予定	調査データの入力、基礎統計、推測統計 等(9月)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	中間発表会を通じて、調査データの分かりやすい発表と、他チームへの適切な質疑ができるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。	
		各コマにおける授業予定	中間発表会(9月最終週)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	調査データに基づく考察、説明が不十分な箇所の再調査、必要なら追試をチームで協力して進められるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。	
		各コマにおける授業予定	データに基づく結果説明と考察の手順、追試の手配と実施、PPTの見やすいまとめ方 等			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	学科内プレ発表会を通じて、データに基づく考察の発表、他チームへの適切な質疑ができるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。	
		各コマにおける授業予定	学科内プレ発表会(10月最終週)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	目的と意義、研究内容、考察の流れに矛盾がなく、論理的な説明ができる論文を制作できるようになる。		授業時間外でも作業や	

5 回	我 形 式	各コマに おける 授業予定	論文の整合性、不足箇所の保管、徹底考察 等	配布資料 等	調査をグループで協力 して進める。
--------	-------------	---------------------	-----------------------	--------	----------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	目的と意義、研究内容、考察の流れに矛盾がなく、論理的な説明ができる論文を制作できるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	論文の整合性、不足箇所の保管、徹底考察 等		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	目的と意義、研究内容、考察の流れに矛盾がなく、論理的な説明ができる論文を制作できるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	論文の整合性、不足箇所の保管、徹底考察 等		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	学科内発表を通じて、研究の目的・方法・結果・考察を、論理的整合性をもってプレゼンできるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	学科内発表会(11月最終週)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	学科内発表を通じて、研究の目的・方法・結果・考察を、論理的整合性をもってプレゼンできるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	学科内発表会(11月最終週)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の集大成を論文として文章にまとめられるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	論文作成、論文添削 等(12月～1月)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の集大成を論文として文章にまとめられるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	論文作成、論文添削 等(12月～1月)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラスメート以外の一般の方向けに研究内容を平易かつ論理的・実証的に説明できるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	卒業研究学外発表会(1月最終週)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	クラスメート以外の一般の方向けに研究内容を平易かつ論理的・実証的に説明できるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	卒業研究学外発表会(1月最終週)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の集大成を論文として文章にまとめ、期限までに仕上げ提出できるようになる。	配布資料 等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	論文最終推敲、書式確認、最終提出 等(2月上旬)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の集大成を論文として文章にまとめ、期限までに仕上げ提出できるようになる。		授業時間外でも作業や

15 回	我 形 式	各コマに おける 授業予定	論文最終推敲、書式確認、最終提出 等 (2月上旬)	配布資料 等	調査をグループで協力 して進める。
---------	-------------	---------------------	---------------------------	--------	----------------------